

飛込授業 15・16弾

山口県下関市立日新中学校2年2組の

夢 ステキな生徒達と
について学びました



「ほめる、認める」ことを中心とした学校経営をされている、山口県下関市立日新中学校の今坂雅志校長先生とのご縁から、当校で「コミュニケーションを高める授業」をテーマに提案授業をさせていただきました。

最初は2年2組で「夢」について考えました。先ず、「そもそも『夢』とは何か?」について出し合い、将来のこと、つきたい職業、希望、やってみたいこと、目標、好きなこと・・・と確認をしました。

次に、「夢を持つならば、大きな夢を持つべきか、小さな夢を持つべきか?」と、それぞれ自分の立場を決めて、その後は同じ立場の人同士で集まりその理由について考えました。日頃から仲が良い学級なので、一人をつくることも無く、自分の考えを素直に出し合ったり、助け合う姿が印象的でした。そのため、理由を聞く場面ではほぼ全員が発言をしました!

さらに「それぞれの夢を実現するためにはどうすれば良いか?」について考えました。全体で自由に動きながら意見を交流する場では、動くスピードがとても速くなり、また、いろいろな友達のところへ進んで行き学び合う姿が印象的でした。大いに成長を感じた場面でした。



学ぶスピード

多くの人の考えを知りたいから素早く動く。そして、誰でも学び合う。



書く目的は

それぞれが自分の考えを書いているから、短時間で協議ができる。そして、友達の良さを書き加えることができる。



NO.614 2021年12月 下関市立日新中学校

頭がくっつく

学び合いが白熱すると、次第に頭が近づいてくる。

3

自分から行動することが大切で、夢をかなえるために必要だと思ひます。何もしないより、何か行動すること、失敗をおそれずに何事にも挑戦することが大切だと思ひます。また、夢をかなえることは、一人ででは難いと思ひます。家族やまわりの人の支えあってこそと思ひます。家族やまわりの人の感謝も大切だと思ひます。

努力、まわりの人への感謝、どんなことに時間をかけるか、どんなことに目標を定めるか、実際にやってみる、自分のみえるところにほろ(夢を)、人に語り、

最後の「ふりかえり」の場面は、先程までの賑やかな状況から一転、教室からシャーペンの音しか聞こえない程の集中力!集団の力だけでなく、個にかえった時の力も大いに感じました。日常の学級経営の素晴らしさを感じました。私も生徒達に助けられ、大いに学ばせていただきました。

4 ふりかえり
自分の夢をかなえるためにほろ(夢)を、しほから
自分の道を進むという意見はすこしいほと思ひます。自分も今
ほろ(夢)と思ひます。お道(夢)の下り(夢)がみつかるとも思ひます。
自分の成長、新しい人への出会い、さまでほろ(夢)か
経験ができることに気がついた。今日は楽しかった。

今日こういう話し合いで初めて共有という言葉
が出ました。夢は共有か大切だと思ひたから
です。今まで夢を語りあうことがなかったことに
初見一人「これ(夢)を語りあうから、前向き
になりました。

夢についての話の意見を聞くことができて、お
く(夢)がた、大と小に分かることで、お話し
しあひ人と意見も交換することができて、よかた
な(夢)か(夢)ら(夢)嬉しかた、遠く(夢)を(夢)
1. 新鮮な(夢)

夢だけでなく、人によって、意見も、お話し、大きさも、
色も変わるんだなーということがいほんな人と話し
しあひりました。こうや(夢)夢について考えるのが、とても
楽しかったです。山香先生の授業は、とてもおもしろくて、
楽しかったです。

121
121
121